

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問

定例会概要

市議会の活動ほか



議長、副議長及び監査委員を務める議員は、慣例により一般質問は行っておりません。
【議長：人見武男議員(左)、副議長：山之内肇議員(中)、監査委員：北川久人議員(右)】

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し自由に決め、事前に通告しています。

質問時間は40分

議員1人の質問時間は、市当局からの答弁も含めて、40分以内です。

3月18日(月)・19日(火)の2日間にわたり、15人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の横は所属会派名(無会派は会派に属さない議員)

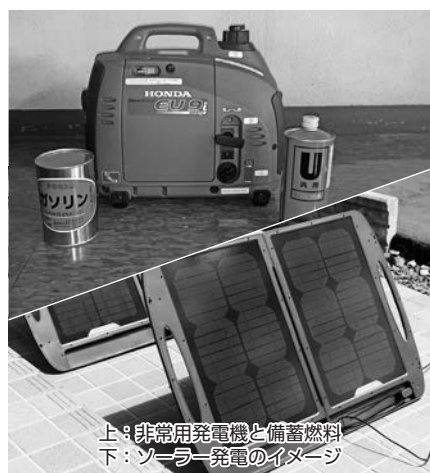


各議員の二次元コードを読み込むと、一般質問の映像を見ることができます！

※各議員の提案の右上にあるロゴは、SDGs(エス・ディー・ジーズ)の17の目標に関連しています。

議員の提案

ソーラー発電や移動式蓄電池の導入を



上：非常用発電機と備蓄燃料
下：ソーラー発電のイメージ

問 避難所となる市有施設には、停電時でも自家発電設備により照明に使用する電力を供給できる施設が数か所あるが、すべての避難所に設備があるものではなく、備蓄品である発電機も非常用のもので数に限りがある。設備の導入等については、災害発生時以外の利用も考慮する中で判断する必要があるため、施設管理担当と連携し、避難施設の環境向上について、研究してまいりたい。

避難施設の環境向上のため研究

問 ソーラー発電や移動式蓄電池導入行政における災害時対応の準備として、避難所にソーラー発電を利用する街灯や移動式の蓄電池を導入することに関し、当局の見解は。



ソーラー発電や移動式蓄電池導入

災害時対応の準備

クラブ21

周藤 雅彦 議員



そのほか…「武道館建設」について質問

議員の提案

鉛製給水管の布設替え工事の補助は



水道のイメージ

問 住宅改修に伴えば対象となる住宅改修が伴えば対象となる。住宅内給水管工事の布設替え工事については、キッチンや浴室などの住宅改修に伴い、同時に実施する工事であれば「きりゅう暮らし応援事業」における助成制度の利用が可能となっている。

問 世界保健機構(WHO)では、鉛による人体への危険性を示している。また、鉛製給水管内に水が滞留すると鉛の濃度が上昇し、危険であるとの知見もある。厚労省策定の水道ビジョンにおいても鉛製給水管を早期にゼロにすると目標を掲げている。鉛製給水管からの水道水を飲まないようにするためにも給水管の布設替え工事は補助対象となるか。

布設替え工事は補助対象となるか

鉛は人体に有害

一心会

小島 強 議員



そのほか…「買い物支援」について質問

議員の提案

職員の順法意識を改める再教育が必要



桐生市役所

問 今回の不適切な事務処理に関して大変重く受け止めている。公務員として重要な規範意識を低下させるような職場風土があったとしたら、必ず一掃しなければならぬものと思っている。本市の生活保護行政を生まれ変わらせることが大切なことだと認識しており、信頼回復に向け、職員の再教育も含め、今後の対応をしっかりと行っていきたい。

不適切な事務処理を重く受け止める

答 本人から受領印をもらわず課に保管してあった認印を受領簿に押すことは刑法上の文書偽造行為と考えられるのではない。根本的な職員の再教育が必要なのでは。

不適切な「福祉課保管印の使用」

問 本人から受領印をもらわず課に保管してあった認印を受領簿に押すことは刑法上の文書偽造行為と考えられるのではない。根本的な職員の再教育が必要なのでは。



生活保護業務

飯島 英規 議員
無党派



議員の提案

リサイクルトナーを使用すべきでは？



プリンターとインクトナー

問 現在、市本庁舎内で使用するプリンターのインクトナーは主に純正メーカー製のリサイクルトナーを使用しているが特に問題はないと聞いている。市内の学校でも費用削減等のためリサイクルトナーを使用すべきと考えるが見解は。

今後使用について検討したい

答 正規品よりも安価なため費用が抑えられる一方、保守面で保証が確保されていなかったことから学校等では導入していなかったが、現在ではリサイクルトナーの使用実績が増えていることやプリンターが故障した場合に販売メーカーが補償することが確認できたことから今後使用について検討していきたい。

学校現場における費用削減

問 現在、市本庁舎内で使用するプリンターのインクトナーは主に純正メーカー製のリサイクルトナーを使用しているが特に問題はないと聞いている。市内の学校でも費用削減等のためリサイクルトナーを使用すべきと考えるが見解は。



SDGs

辻 正男 議員
そうぞう未来



議員の提案

新たな再生可能エネルギーの研究を



地熱発電所のイメージ

問 令和元年度から東京電力リニューアブルパワー株式会社が赤城山地域で可能性調査を行っており、現在調査を見守っている。国ではカーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギー活用に取り組んでいるため、提案企業の活動も含め、情報収集や研究を行ってまいりたい。

可能性を探るべく研究したい

答 令和元年度から東京電力リニューアブルパワー株式会社が赤城山地域で可能性調査を行っており、現在調査を見守っている。国ではカーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギー活用に取り組んでいるため、提案企業の活動も含め、情報収集や研究を行ってまいりたい。

環境先進都市として調査・研究を

問 地熱発電は発電コストが低く、ベースロード電源として期待されながらも、掘削等にリスクがあることから導入が進んでいない。その中で、全国展開する大手スーパが新たに株式会社を起業し、地熱発電所を稼働したが、本市が連携することは可能か。



地熱発電

工藤 英人 議員
一心会



そのほか…「新里地区・黒保根地区の地域振興」について質問

ヒント ベースロード電源…継続的な稼働が可能で、安定した供給が見込める電源。

議員の提案

人権侵害、違法性の疑いを認めるべき

3 すべての人に
健康と福祉を

渡辺 恒議員
日本共産党議員団
生活保護問題



人権侵害、違法性の疑い

問 これまで報道された生活保護に関する事例について、人権侵害や違法性の疑われる、不適切な運用が行われたという認識があるのか、確認したい。

不適切な運用は積極的に改善する

答 人権侵害、違法性の疑いについては現時点で言及するのは難しいと考えている。また、市が公表したケースでは、不適切な運用が少なからずあったと認識している。まずは、県から発出された「生活保護の適正実施について」の内容を遵守し、窓口対応や事務処理などの改善に努めている。今後、第三者委員会の検証結果や県の特別監査の指摘を踏まえ、積極的に改善をしてまいりたい。



桐生市役所

そのほか…「生存権に関わる下水道事業のウォーターPPP導入をやめること」について質問

議員の提案

自家用有償旅客運送、ライドシェア解禁

11 住み続けられる
まちづくりを

園田 基博議員
一心会
夜間のタクシー



すぐにでも導入していただきたい

問 夜間のタクシー平均運行車両数が、コロナ禍前は25台であったものが現在は5台に減少。早急にライドシェアや自家用有償旅客運送を導入していただきたい。

なるべく早く解決できるように取り組む

答 ライドシェアは現時点で本市が対象地域になるかは不確定要素が多く判断できない状況。自家用有償旅客運送は、国のガイドライン改正により、地域の法定協議会の承認が得られればタクシーが運行されていない深夜の時間帯も送迎することが可能となった。昨年9月からタクシー事業者等との意見交換も重ねている。課題も多くあるが、なるべく早く問題解決できるように取り組んでいきたい。



タクシー

そのほか…「市営住宅の有効活用」について質問

議員の提案

堤防設置について今後の見通しは？

11 住み続けられる
まちづくりを

岡部 純朗議員
そうぞう未来
堤防未設置箇所

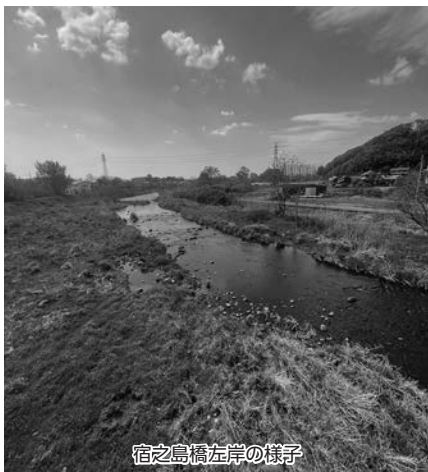


民家がある以上必要では

問 境野町1丁目と菱町1丁目城の岡団地側の桐生川に架かる宿之島橋左岸の菱町側に民家が10戸ほどあるが、その場所には堤防がない。もしもの場合は水没する可能性があるかと理解している。将来的な堤防設置に向け本市として今後どのような取組を行っていくのか。

今後も要望していきたい

答 本市は渡良瀬川治水同盟に属しており、例年中央要望において、治水関係事業の予算の拡充と河川・砂防事業の推進を要望している。また、早期着手に向け関係機関と連携を図りながら、機会あるごとに積極的に要望していきたいと考えている。



宿之島橋左岸の様子

そのほか…「渡良瀬川、桐生川の河川整備状況」「市の管理施設(学校も含む)樹木の繁茂処理」について質問

議員の提案

心のサポーターによる心の応急対応を



相談のイメージ

問 厚生労働省の「心のサポーター養成事業」では、メンタルヘルス等への正しい知識を持ち、地域や職場で精神的不調に悩む人に対して、できる範囲で手助けする心のサポーターを令和15年度までに全国で100万人養成することを目指しているが、本市での実施について見解は、アンテナ高く情報収集したい

答 現在、市に情報が下りてきておらず県に確認したところ、国から情報が届き始めているところで、県として手を挙げ段階ではないとのことだった。本市としては、現在の取組を継続するとともにアンテナを高くして情報を収集し、研究してまいりたい。

そのほか…「[スポーツマンシップ]をまちづくり、人材育成に生かすために」「市民が安心して歩行できる環境づくり」「災害用トイレトレーラー」について質問



うつ病対策

丹羽 孝志 議員
公明クラブ



養成研修の実施について市の見解は

問 厚生労働省の「心のサポーター養成事業」では、メンタルヘルス等への正しい知識を持ち、地域や職場で精神的不調に悩む人に対して、できる範囲で手助けする心のサポーターを令和15年度までに全国で100万人養成することを目指しているが、本市での実施について見解は、アンテナ高く情報収集したい

アンテナ高く情報収集したい

答 現在、市に情報が下りてきておらず県に確認したところ、国から情報が届き始めているところで、県として手を挙げ段階ではないとのことだった。本市としては、現在の取組を継続するとともにアンテナを高くして情報を収集し、研究してまいりたい。

議員の提案

長期避難でも支援を絶やさぬように



避難所生活のイメージ

問 関東地方でも地震が頻発している。万が一、本市が被災するようなことがあれば、首都圏はそれ以上の被害かも知れない。その場合、広域支援を受けざるまでも時間はかかる。市民の避難生活が長期化した場合のシミュレーションも必要だと考えるが、当局の見解は、先進事例を調査研究していきたい

答 避難の長期化を想定した避難生活の支援体制や業務継続は計画しているが、長期避難に特化したシミュレーションは行っていない。今後、他市町村の先進事例なども調査しながら、避難者による避難所自主運営など避難の長期化対策について研究してまいりたい。



災害対応

歌代 公司 議員
無党派



長期避難のシミュレーションは

先進事例を調査研究していきたい

答 避難の長期化を想定した避難生活の支援体制や業務継続は計画しているが、長期避難に特化したシミュレーションは行っていない。今後、他市町村の先進事例なども調査しながら、避難者による避難所自主運営など避難の長期化対策について研究してまいりたい。

議員の提案

タイムリーな議会へのフィードバック



議会の様子

問 議会からの要望や提案に対しての動きが不透明である。市政根幹をなす施策の策定と実現に寄与する、より有意義となる議論の在り方、議会への適宜適切なフィードバックについての考えを伺いたい。

答 答弁では誤解や認識の相違を起こさぬよう慎重な言い回しが多くなっているものと考えられるが、研究、検討と答弁した以上はしっかりと取り組まなければならないと認識している。各部局において、議会からの要望・提案は市民の声であるとの認識のもとに受け止めてまいりたい。



議会は市民の声

石渡 宏明 議員
一心会



要望・提案はどうなっているのか

しっかりと受け止めている

答 答弁では誤解や認識の相違を起こさぬよう慎重な言い回しが多くなっているものと考えられるが、研究、検討と答弁した以上はしっかりと取り組まなければならないと認識している。各部局において、議会からの要望・提案は市民の声であるとの認識のもとに受け止めてまいりたい。

そのほか…「ゆっくりリズムのまち桐生」「自治組織の現状と課題」について質問

河原井 始 議員
クラブ 21
少子化対策



安定した正規雇用こそ少子化対策

問 若年層が経済的に不安定な状況にあることが、少子化に影響を与えてきた。若者雇用問題に真剣に取り組むことが少子化対策に効果があると考ええる。ある程度の安定した所得という観点では、正規・非正規に違いがある。まずは民間に影響のある市役所から正規雇用の拡大を。

市の正規職員は最大限減らさない

答 出生率が低下し人口減少が進む中、正規職員の割合を増やすことは重要と認識している。様々な取組を進め、まずは正規職員を最大限減らさないようにしていきたい。また非正規職員に対しても、時給額や育児休業制度の改善、期末・勤奨手当の支給等処遇改善を行っている。

議員の提案

市役所から正規雇用の拡大を



市役所1階

そのほか…「消費者行政」「救急医療の逼迫」について質問

久保田 裕一 議員
そうぞう未来
多様な選択肢



統廃合ありきではない議論へ

問 市立小中学校の適正規模・適正配置の議論において、黒保根学園のような義務教育学校や既存の小学校と中学校を組み合わせで一貫教育を行う施設分散型の小中一貫校なども選択肢の一つと考えるが、地域住民の意見を反映した学校の在り方について教育委員会の見解は。

意見を出しやすい環境づくりに努める

答 学校規模等の適正化は行政のみで進めるものではなく保護者、地域住民等で構成する検討委員会において、小中学校の現状や課題等を共有しながら協議を進める必要があると考えている。また委員会運営については委員が自由に意見を出せるような環境づくりに努めたい。

議員の提案

小中学校の在り方に住民意見の反映を



授業風景

そのほか…「思いやりの設備『ユニバーサルシート』の設置拡大」について質問

関口 直久 議員
日本共産党議員団
生活保護行政



監査での具体的な指摘は

問 国、県からの監査による具体的事例はどのようなものがあったか。また、今回の生活保護費支給などの問題について監査では発見できなかったのか。

特別監査で随時指摘を

答 国の監査は5年間行われていない。県の監査は毎年実施され、過去5年間で「口座支給を増やすこと」「介護保険料の代理納付を一括認定から納期ごとの認定にすること」「コロナ禍を踏まえつつも、家庭訪問で生活状況確認を適切に実施すること」等の指摘を受け、是正改善を行った。現在は、県の特別監査が入り、結果はまだ出ていない。直すべき事項があれば指摘を受けるものと考えている。

議員の提案

国、県の監査の在り方は？



桐生市役所

そのほか…「旧川内北小の活用とみやま園移転」について質問

議員の提案

被災地派遣での経験・情報を生かして



経験は財産

近藤 芽衣 議員
そうぞう未来

貴重な体験をフィードバックして

【問】能登半島への被災地派遣で得た職員の貴重な体験と情報を記憶が新しいうちに早急にまとめあげ、防災対策等にフィードバックできないか。

極めて重要であると認識している

【答】将来、本市が大きな災害に襲われた時、支援を受け入れる側としての災害対応が必要となる。その際、外部からの支援を最大限に有効活用するためには、事前に受援体制を整えておくことがいかに重要であるかを今回の被災地派遣を通して考えさせられた。この経験を既存の地域防災計画、業務継続計画等にフィードバックしていくことが極めて重要であると認識を新たにしている。



能登半島への被災地派遣の様子

予算特別委員会 開催

3月定例会では、令和6年度桐生市一般会計予算、6事業の特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算及び農業集落排水事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。

同予算を採決するにあたっては、予算特別委員会（正副議長を除く委員20人で構成）を設置し、2月27日（火）～29日（木）の3日間にわたり慎重に審査を行いました。

令和6年度各会計予算規模

- 一般会計予算額 499億7,000万円
（前年度比:9.3%増）
- 特別会計予算額 294億6,794万8千円
（前年度比:0.9%減）
- 企業会計予算額 92億3,448万2千円
（前年度比5.7%増）



本会議

請願審査

請願6件の審査を行った結果、1件が不採択、5件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第1号	学校給食費無料化を求める請願

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第4号	「健康保険証の廃止をしないよう求める意見書」を政府に送付することを求める請願
	第6号	日本政府に核兵器禁止条約の批准・署名を求める意見書採択の請願
	第7号	「イスラエル政府に対して、直ちに戦闘をやめるよう要請すると同時に、UNRWAへの資金拠出の再開を求める意見書」採択の請願
教育民生委員会	第2号	健康保険証をマイナンバーカードに一体化させ保険証を廃止する事の中止を求める請願
	第8号	生活保護行政の改善を求める請願